

『症例解析&文献評価ワークショップ 2017 : 2 型糖尿病』

病棟や在宅で、目の前の患者に対する最適な薬物治療法の評価・提案方法がわからない、診療ガイドラインは一読したが、目の前の患者への活用方法に自信がない。論文を読む機会が少なく読み方・評価方法がわからない、論文の臨床応用に悩んでいる。そのような経験はありませんか？ ワークショップではこれらの基礎を学び、グループワークを通じて実際に症例解析もしくは文献評価に取り組むことで「**症例の治療を評価する力**」と「**文献を批判的に吟味する力**」を身につけていきます。また、プリセプターとして参加することで本学会認定ワークショップ認定指導者の指導のもとワークショップの立案から薬物治療の科学的評価の実践について学ぶことが出来ます。対象疾患は 2016 年に新ガイドラインが発刊された「2 型糖尿病」です。2 型糖尿病において治療選択と血糖コントロールに難渋する、高齢者の症例について検討を予定しています。今回は、一般社団法人薬局共創未来人財育成機構と共催でワークショップを実施します。本ワークショップは基礎から実践まで学べる場となっておりますので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

※ 過去のワークショップの成果物はホームページをご参照ください。

開催日時：2017 年 5 月 13 日（土）13:00～17:30、14 日（日）9:20～17:00

開催場所：グラントウキョウ サウスタワー13 階 会議室 E および F

定 員：症例解析コース 15 名、文献評価コース 15 名

プリセプター 10 名（症例解析 5 名、文献評価 5 名）

参加費：正会員・準会員 7,000 円、非会員 13,000 円、学生 1,000 円（いずれも当日払い）

※当日欠席された場合や 4 月 30 日以降にキャンセルされた場合には、後ほど会費全額をお支払いいただきます。

申込方法：メールでお申し込みください。メールの件名を「薬物治療ワークショップ 2016 参加希望」とし、

1) 氏名（ふりがな）、2) 所属、3) 参加希望コース（一般かプリセプターかも含む）、

4) 会員種別、5) 情報交換会（会費 3000 円程度）への参加希望の有無を明記してください。

申 込 先：apusera.workshop@gmail.com

申込期限：一般参加 2017 年 4 月 29 日（土）（先着順）

プリセプター 2017 年 3 月 31 日（金）（先着順）

※ 本ワークショップは、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の単位、日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師認定制度の講習会・教育セミナーおよび日本薬剤師研修センター単位に申請予定です。また、一般社団法人薬局共創未来人財育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」の研修*）となります。日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会のワークショップ認定指導者の認定要件の一つを取得できます。

*）症例解析コースは一般社団法人薬局共創未来人財育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」症例検討 WS-IV（高齢者薬物治療認定薬剤師制度の認定要件となるワークショップ）も兼ねております。当該機構からのお申込みを希望される方は 1 日目の内容に準じた Mobile Seminar を受講の上、2 日目のワークショップから参加いただけます。Mobile Seminar を受講後でも、会場での 1 日目からの講演、演習（組織委員がサポートします）にはご参加いただけます。当該機構からの申し込みをご希望の方、当該機構の認定制度、Mobile Seminar などに関する詳細は、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：ワークショップ組織委員会 久保田洋子（日本薬科大学） apusera.workshop@gmail.com

共催：日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 <http://www.applied-therapeutics.org/>

一般社団法人薬局共創未来人財育成機構 <http://pfpd.or.jp/>

コースの概要

症例解析：自覚症状や各種検査データから患者の病態を適切に評価したうえで患者の抱える問題点を把握し、ガイドラインや文献等をもとに根拠に基づいた薬剤選択、PK/PD 理論に基づく用法用量の設計、的確な治療モニタリング計画の立案、望ましい効果が得られない場合の対応など、薬物治療の科学的・合理的評価の基本的な思考と実践的スキルを学びます。

文献評価：臨床研究論文を読む際に注目すべきポイントを学び、論文データの正しい読み取り方（統計学的視点も含む）や批判的吟味の思考を習得します。英語論文を扱い、英語が苦手な方でも論文を評価できることを目指します。

ワークショップ認定指導者制度の発足に伴い、プリセプターとしての参加者も募集します。プリセプター参加の場合、演習課題の準備や指導方針などの事前打ち合わせ（主にメール）にも加わります。

当日のスケジュール

<5月13日（土）> ※症例解析コース参加で、薬局共創未来人材育成機構からお申し込みの方は希望者のみとなります。

時刻	症例解析コース	文献評価コース
12:30~13:00	参加受付	
13:00~14:00	講義：「2型糖尿病の病態評価と標準薬物治療」 講師：佐村 優 先生（横浜総合病院 薬剤科）	
14:00~14:10	移動（休憩）	
14:10~15:40	講義：「2型糖尿病治療薬の薬物動態」 講師：緒方 宏泰 先生 （明治薬科大学名誉教授）	講義：「前向き比較試験論文の批判的吟味」 講師：花井 雄貴 先生 （東邦大学医療センター大森病院 薬剤部）
15:40~15:50	休憩	
15:50~17:20	演習：薬物動態演習	演習：文献評価演習
17:20~17:30	1日目のまとめと2日目のスケジュール確認	
17:30~	場所移動、情報交換会	

情報交換会：参加者の交流を深めます。（希望者のみ、別途会費を頂戴します）

<5月14日（日）>

時刻	症例解析コース	文献評価コース
9:00~9:20	受付（薬局共創未来人材育成機構の申込者のみ）	
9:20~9:30	概要説明	
9:30~11:00	SGD：症例1の症例解析（基礎編）	SGD：課題文献#1の批判的吟味
11:00~12:30		
12:30~13:30	昼食	
13:30~15:50	SGD：症例2の症例解析（応用編）	SGD：課題文献#2の批判的吟味
15:50~16:00	休憩	
16:00~16:45	総合討論	
16:45~17:00	修了証発行、閉会式	

SGD : small group discussion

参考資料

改訂2版「2ページで理解する標準薬物治療ファイル」（南山堂）

月刊薬事4月臨時増刊号「病棟に行く前に知っておきたい Common Disease 外さない症例解析で薬物治療に強くなる!」（2016）